

アンケート調査報告

【実施概要】

■調査時期 令和5年3月13日～3月28日

■調査対象・実施方法 以下の4タイプのアンケートを実施した。

タイプ	対象者	配布部数	選定基準・実施手法等	
			対象者	実施方法
A	①市民・未就学児の保護者	市民 1,000部 未就学児保護者 250部	<市民> 18歳以上の市民を無作為抽出 <未就学児保護者> 未就学児のお子様がいる保護者を無作為抽出	【実施】郵送 【回収】郵送及びWEB
	②児童・生徒保護者	1,018部 計 2,268部	アンケートを実施した児童・生徒保護者	【実施】各学校の教職員より保護者へ依頼 【回収】WEB
B1	③学校代表	25部	小・中学校 25校の学校代表者	【実施】市よりメールにて依頼 【回収】WEB
B2	④教職員	小・中教職員 724部	小・中学校 25校の教職員	【実施】市よりメールにて依頼 【回収】WEB
C	⑤児童・生徒	小学生 524部 中学生 494部 計 1,018部	小学5年生 中学2年生	【実施】各学校の教職員より児童・生徒へ依頼 【回収】WEB

■回収状況

タイプ	対象者	配布部数	回収部数		回収率
A	①市民・未就学児の保護者	市民 1,000部 未就学児保護者 250部	郵送 310部+WEB213部	計 523部	38.1%
	②児童・生徒保護者	1,018部 計 2,268部	340部		
B1	③学校代表	25部	25部		100.0%
B2	④教職員	小・中教職員 724部	446部		61.6%
C	⑤児童・生徒	小学生 524部	小学生 405部	計 846部	83.1%
		中学生 494部 計 1,018部	中学生 421部 不明 20部		

● 学校代表者アンケート結果

<学校施設の地域開放について>

- ・開放しているが92%で、殆どの学校が開放を行っている。
- ・施設の種類は、「体育館」100%「運動場」91.3%。

<安全・安心な学校づくりについて>

- ・「校内に死角ができないような、建物、屋外施設、入り口の配置をする」が80.0%で最も多く
- ・次いで「緊急時のお知らせや校内連絡ができる設備を整備する」が56.0%

<将来的な空き教室利用について>

- ・利用用途では、「地域交流スペース」が77.0%、「子育て支援施設」が64.0%、「生涯学習スペース」が64.0%。

<環境に配慮した施設づくりについて>

- ・「再生可能エネルギー設備等の設置による環境教育への活用」が61.2%で最も多く
- ・次いで「環境に配慮した学校施設の整備」が58.9%。

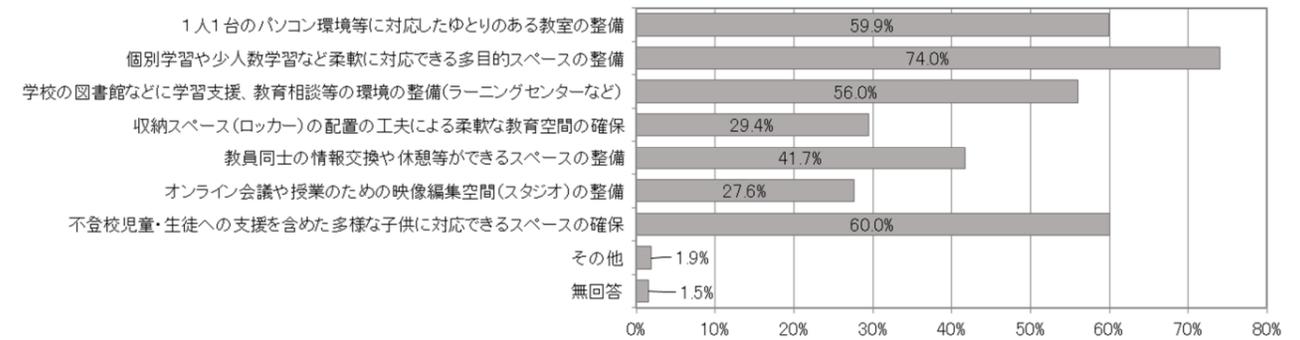
● 市民・保護者アンケート結果

<今後の学校施設について>

Q【学び】個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、柔軟で創造的な学習空間を実現に重要な項目（Q5）※グラフ参照

- ・「個別学習や少人数学習など柔軟に対応できる多目的スペースの整備」が74.0%で最も多く、
- ・次いで、「不登校児童・生徒への支援を含めた多様な子供に対応できるスペースの確保」が60.0%、
- ・「1人1台のパソコン環境等に対応したゆとりのある教室の整備」が59.9%

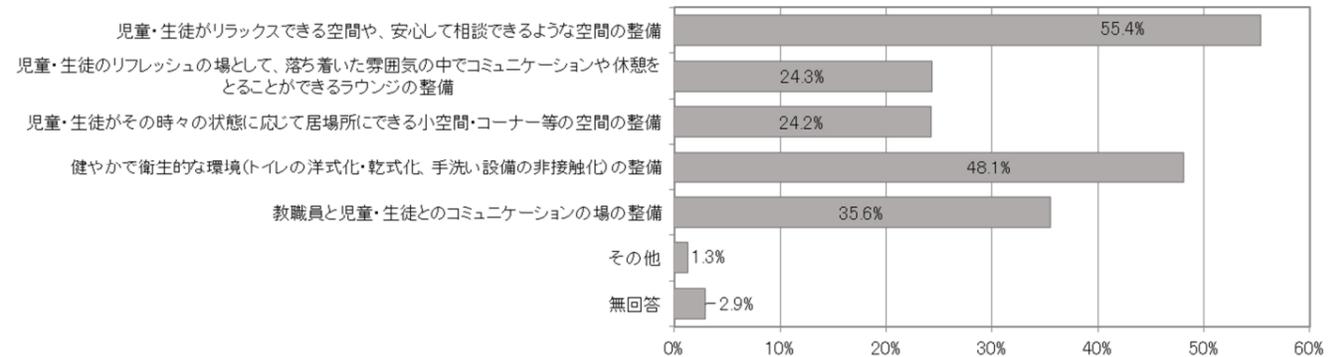
Q5.【学び】柔軟で創造的な学習空間を実現に重要と思う項目(MA)N=863



Q【生活】新しい生活様式を踏まえ、健やかな学習・生活空間を実現に特に重要と思う項目（Q5）※グラフ参照

- ・「児童・生徒がリラックスできる空間や、安心して相談できるような空間の整備」が55.4%で最も多く、
- ・次いで「健やかで衛生的な環境(トイレの洋式化・乾式化、手洗い設備の非接触化)の整備」が48.1%

Q5.【生活】健やかな学習・生活空間を実現に特に重要と思う項目(MA)N=863



<地域における学校のあり方>

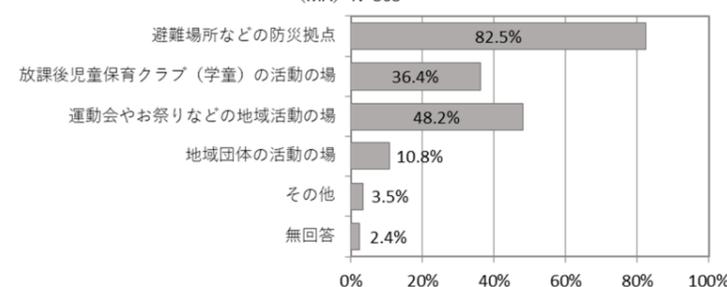
Q現在の学校が地域とどのような関わりを持つ場所か（Q6）※グラフ参照

- ・「避難場所などの防災拠点」が82.5%で最も多く、次いで「運動会やお祭りなどの地域活動の場」が48.2%、「放課後児童保育(学童)の活動の場」が36.4%

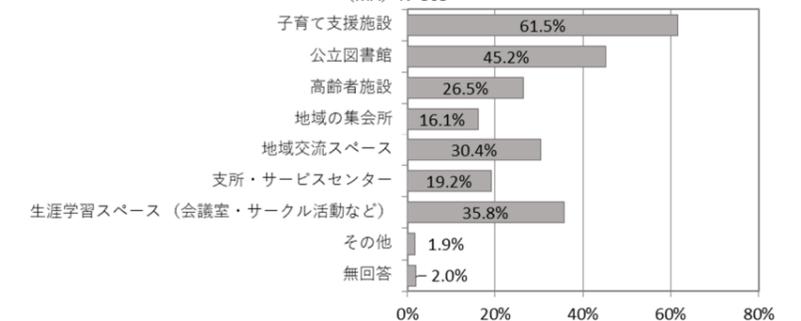
Q将来的に学校施設と合わせて学校以外の機能として、あるとよいもの（Q8）※グラフ参照

- ・「子育て支援施設」61.5%で最も多く、次いで「公立図書館」45.2%

Q6 現在、小・中学校はお住いの地域とどのような関わりを持つ場所ですか (MA) N=863



Q8 将来的に学校施設と合わせて学校以外の機能として、あるとよいもの (MA) N=863



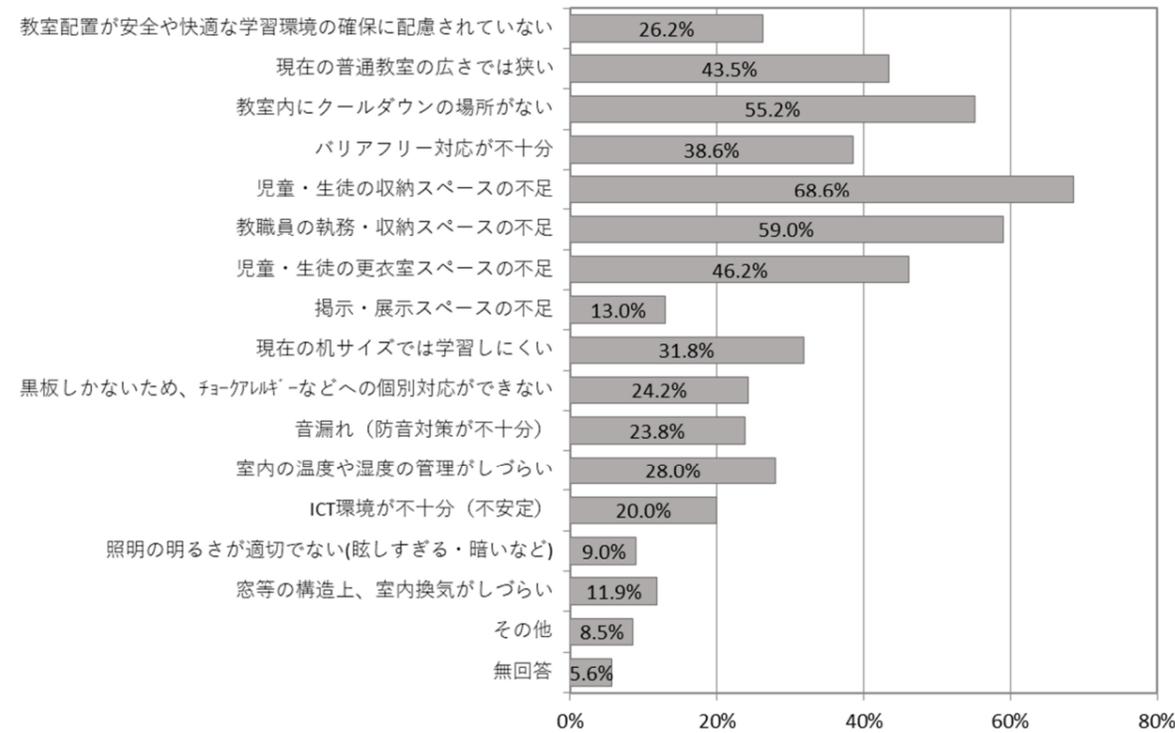
● 教職員アンケート結果

<学校施設について>

Q【現在の通常学級の教室での課題】(Q4) ※グラフ参照

- ・通常学級の教室での課題（困りごと）では、児童・生徒、教職員の収納不足を課題と感じている割合が高い。
- ・また、「クールダウンスペース不足」や、「児童生徒の更衣室スペースの不足」も高い割合となっている。

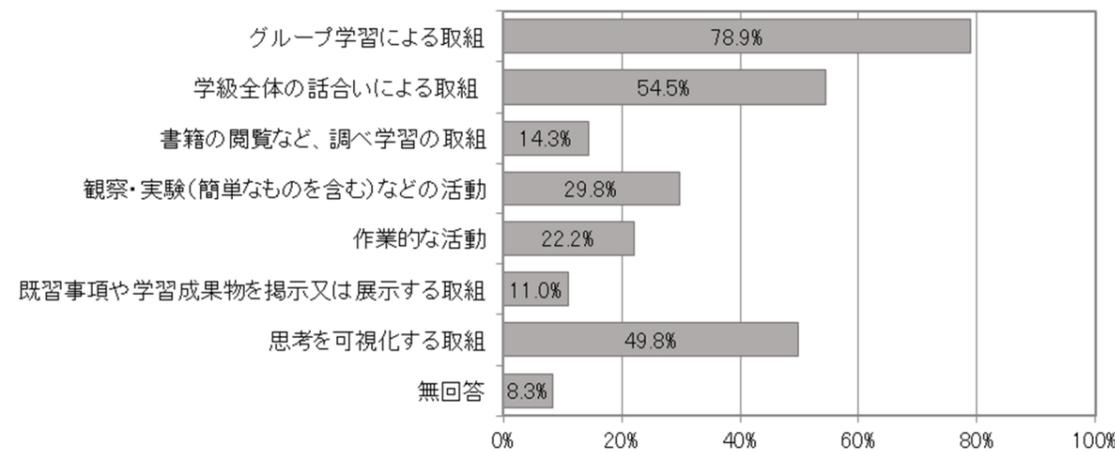
Q4_1【通常学級の教室】課題（困りごと）(MA)N=446



Q通常学級の教室において実施されている「主体的・対話的で深い学び」に係る授業改善の取組のうち最も重視している項目(Q12) ※グラフ参照

- ・「グループ学習による取組」が78.9%で最も多く、
- ・次いで、「学級全体の話し合いによる取組」54.5%、「思考を可視化する取組」が49.8%となっている。

Q12 通常学級の教室において授業改善の取組(MA) N=446



<各教室・諸室の課題に関して>

Q【特別教室での課題】(Q5~Q10)

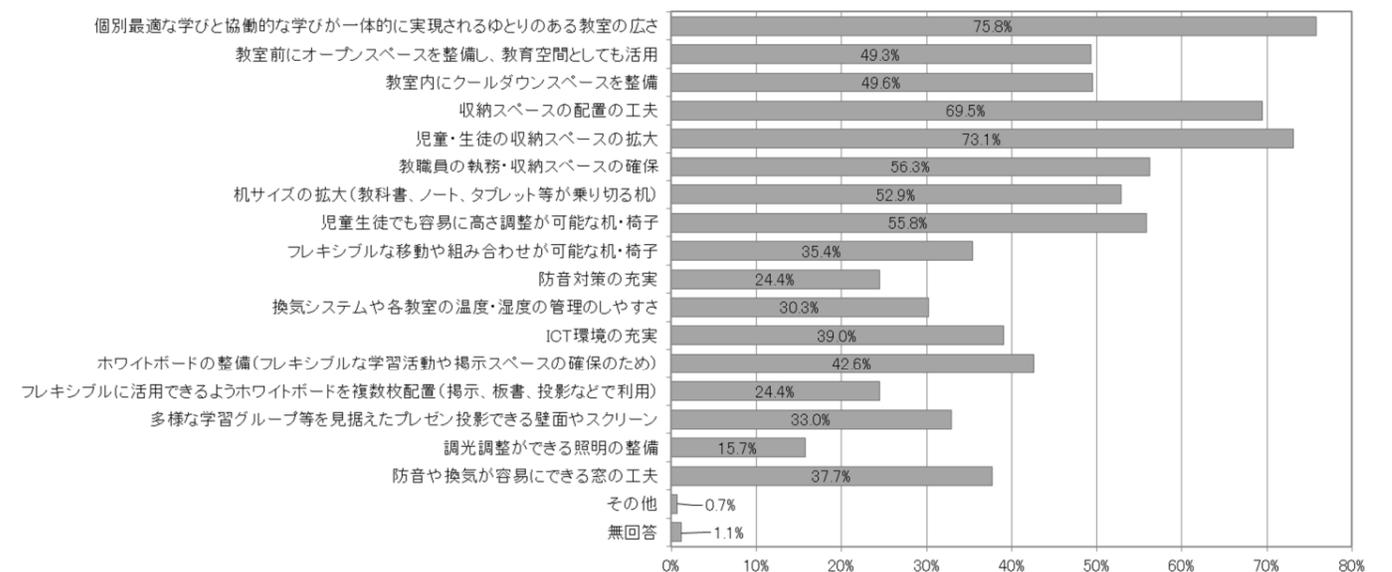
理科室	流しの使い勝手がよくない(41.5%)	机がグループ活動用で実験と記録の両立などが難しい(34.0%)
音楽室	楽器を保管するための環境が十分ではない(46.9%)	
家庭科室	ICT環境が不十分（不安定）」(46.3%)	広さでは狭い(36.3%)
図工室・美術室	作品の保管する置場所がない」(62.7%)	道具等を保管場所の環境が悪い(45.8%)
技術室	ICT環境が不十分（不安定）(50.0%)	作品を保管する置場所がない(50%)
相談室 (適応指導教室)	室内の個別スペースの不足(33.3%)	
図書室	ICT環境が不十分（不安定）(50.9%)	落ち着ける場所がない(33.0%)
職員室	現在の広さでは狭い(57.0%)	収納スペースの不足(56.7%)
会議スペース・会議室	現在の広さでは狭い(35.0%)	場所が適切でない(25.6%)
保健室	保健室に個別相談の可能な場所が不足している(19.5%)	
PTA・地域活動スペース	現在の広さでは狭い・場所がない(77.7%)	ICT環境が不十分（不安定）(43.8%)
倉庫・教材室	現在の広さでは狭い・場所がない(79.0%)	数が足りない(62.5%)
体育施設・屋外施設等	体育館に空調設備がない(51.3%)	更衣室のジェンダー対応ができていない(41.5%)
トイレ・手洗い場	現在のトイレではジェンダー対応が難しい(44.2%)	手洗い場の数が足りない(41.3%)
廊下・階段・昇降口	学校入口の車両と児童・生徒の動線分離ができていない(30.9%)	セキュリティが不十分(25.1%)

<これからの学校施設への期待>

Q通常学級の教室において必要と思われること(Q13) ※グラフ参照

- ・「個別最適な学びと協働的な学びが一体的に実現されるゆとりのある教室の広さ」が75.8%、「児童・生徒の収納スペースの拡大」が73.1%、「収納スペースの配置の工夫」が69.5%。

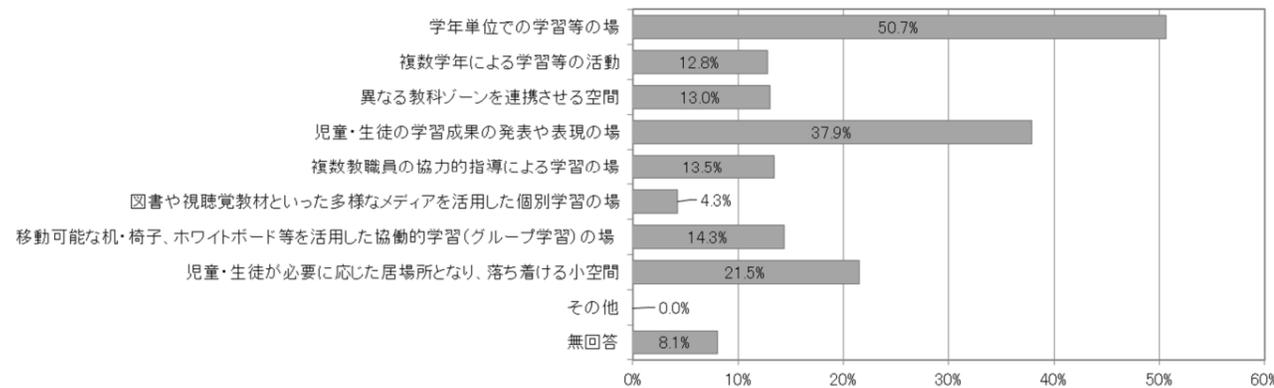
Q13 これからの学校で通常学級の教室に必要と思われることを選択してください。(MA)N=446



Q通常学級の教室以外に様々な活動を行う（オープンスペースや多目的室）空間にどのような活動を期待するか。（Q14）※グラフ参照

- ・「学年単位での学習等の場」が50.7%、「児童・生徒の学習成果の発表や表現の場」が37.9%。
- ・配置・空間に関しては、「通常学級の教室に近接し、間仕切りなどで仕切られた空間」が39.9%
- ・間仕切りの種類に関しては、「可動式（ガラスなどで中が見える）」が32.6%。

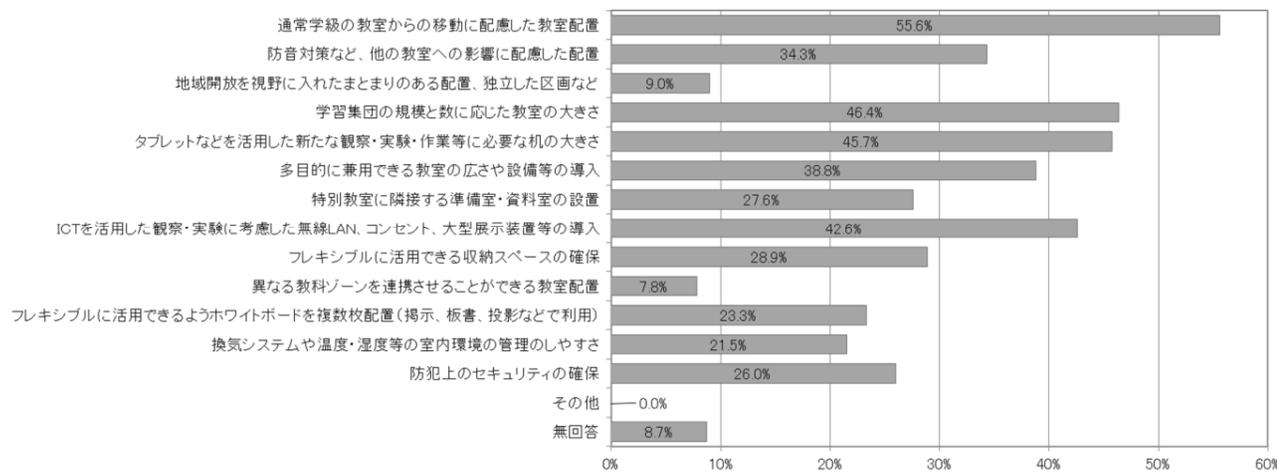
Q14_1 通常学級の教室以外に様々な活動を行う空間（オープンスペースや多目的室）の活用したいと思う項目（MA）N=446



Qこれからの学校の特別教室に必要と思うこと。（Q15）※グラフ参照

- ・「通常学級の教室からの移動に配慮した教室配置」が55.6%、「学習集団の規模と数に応じた教室の大きさ」が46.4%、「タブレットなどを活用した新たな観察・実験・作業等に必要の机の大きさ」が45.7%。

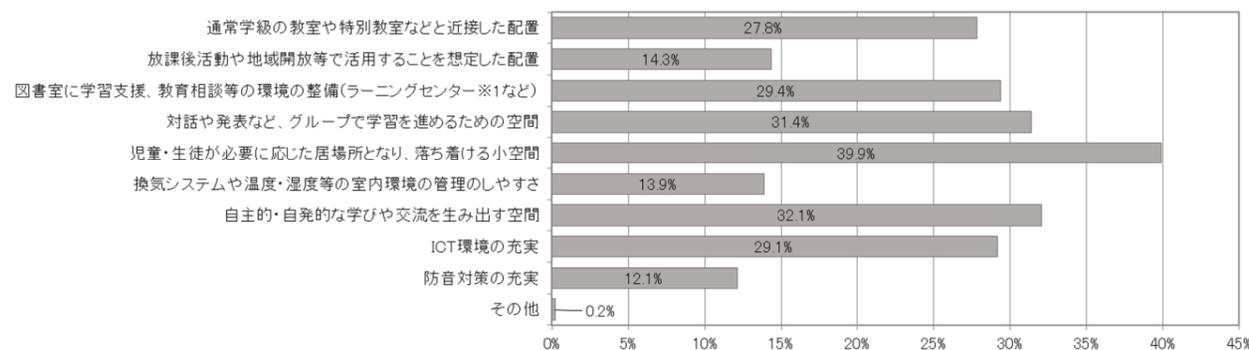
Q15_1 これからの学校で【特別教室】に必要と思うこと(MA) N=446



Qこれからの学校の相談室（適応指導教室）に必要と思うこと。（Q15）※グラフ参照

- ・「児童・生徒が通いやすい配置（保健室に近接しているなど）」が49.3%、「落ち着くために休養できる小スペースの確保」が40.0%。

Q17_1 これからの学校で、【図書室】に必要なこと(MA)N=446



● 児童・生徒アンケート結果

<学校生活について>

Q休み時間の過ごす場所（Q2）

- ・「自分の教室(クラスルーム)」が89.8%、「運動場(グラウンド)」が48.3%。理由としては、「友達がいるから、友達と話したり、遊んだりするから」が最も多い理由であった。

Qどんな時に保健室を利用するか（Q3）

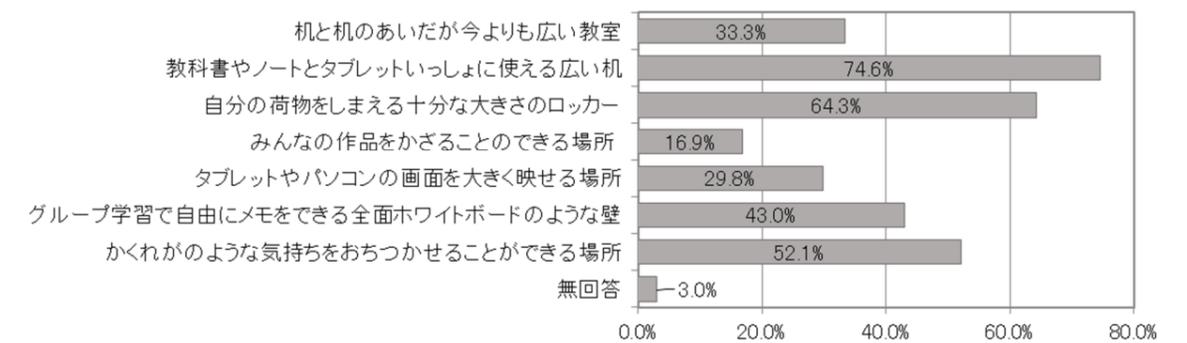
- ・「具合が悪いとき」が84.9%、「けがをしたとき」が80.7%。

<これからの新しい学校について>

Q教室やその周りにあったらよいもの（Q4）※グラフ参照

- ・「教科書やノートとタブレットを一緒に使える広場」が74.6%、「自分の荷物をしまえる十分な大きさのロッカー」が64.3%。
- ・教室と廊下の間仕切りに関しては、「いる」が70.1%、間仕切りの種類に関しては、「中が見える仕切り」が30.2%で多い結果となった。

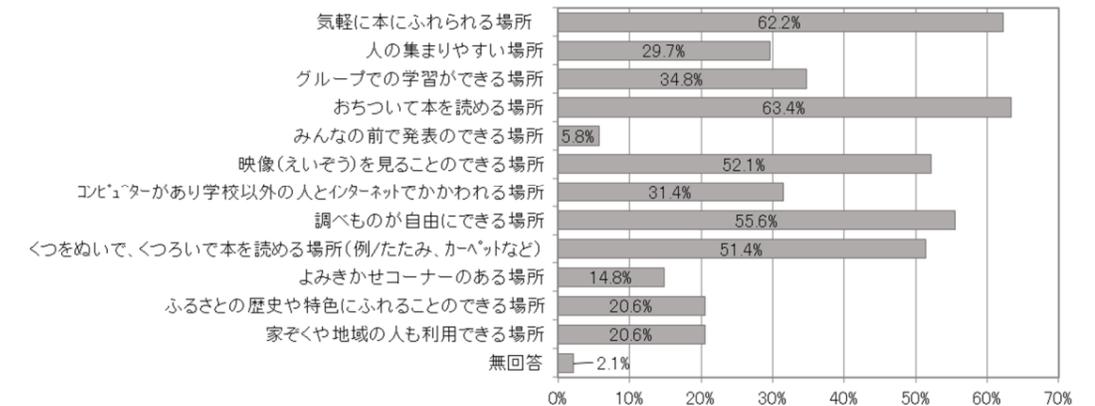
Q4学校にあったら良いと思うもの N=846



Q図書室にはどんな場所がほしいか（Q6）※グラフ参照

- ・「おちついて本が読める場所」が63.4%、「気軽に本に触れられる場所」が62.2%となっている。

Q6図書室に求めるもの N=846



Qトイレやその周りについてよいと思うもの（Q7）※グラフ参照

- ・「明るくきれいな場所」が83.3%、「全部が洋式トイレ」が66.9%、「落ち着いた雰囲気のある場所」が61.8%。

Q7トイレに求めるもの N=846

